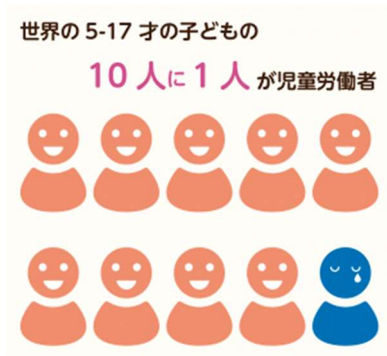


「ストップ！児童労働キャンペーン 2020」

児童労働とは？



児童労働 (Child Labour) とは、義務教育を妨げる労働や法律で禁止されている 18 歳未満の危険で有害な労働のことです。現在、世界では 1 億 5200 万人が児童労働に従事し、世界の子ども 10 人に 1 人が働いている計算になります。

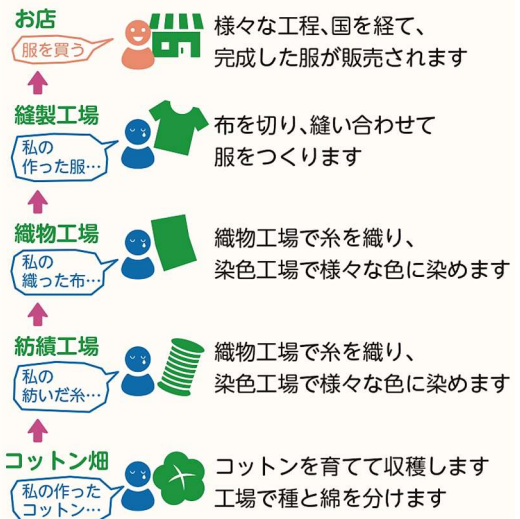
日本にいる私たちと児童労働との関係

私たちが着ている洋服に使われる綿 (コットン) の多くは、インドで生産されています。そのコットン種子生産で働く労働人口の 25% が、義務教育年齢とされる 15 歳未満の子どもです。

また、洋服を作る過程においても児童労働が存在することがわかっています。

2014 年バングラデシュの縫製工場ビル「ラナ・プラザ」が倒壊、1100 名以上が亡くなったこの事故の中には、子どもも含まれていたことが報告されています。

私たちと児童労働の関わり —コットン生産を例に—



児童労働は私たちの生活と決して無縁ではありません。

労働組合と NGO で構成する「児童労働ネットワーク (CL-NET)」は毎年 6 月 12 日の「児童労働反対世界デー」を中心に「ストップ！児童労働キャンペーン」を実施しております。

2021 年は国連が定めた児童労働撤廃年です。

児童労働に NO ! の想いを日本全国へ広めよう！

連合佐賀では、「**おうちでレッドカードアクション**」を取り組みます。

実施日 / 2020 年 6 月 12 日 (児童労働反対世界デー) の前後 1 週間
参加方法 / ○レッドカードアクションに参加する。

○Facebook アカウントを持っている方は、プロフィール写真にフレーム設定し、児童労働に関する投稿を行う。

取組の詳細につきましては、

キャンペーンサイト (<https://stopchildlabour.jp/2020/>)
をご活用ください。

